

【令和7年3月の看護職員の状況】 1.看護師数　常勤：33名　准看護師：8名　非常勤：7名　看護補助者：18名 2.夜勤回数　平均　月5.9回（最大8回、最小0回） 3.常勤看護師平均業務時間　平均　40時間 4.育児支援制度利用者　1名	【これまでの取り組み及び今後の目標】 加須東病院では、充実した看護を患者様に提供できる環境づくりと看護職員の勤務負担軽減を図る為にコメディカルを含めた診療の協力体制を構築し、看護職が担っていた業務等を他職種へ分担している。 またワークライフバランスを重視する観点から、育児支援制度を充実させ、女性職員への支援についても取り組みを行っている。 短時間正規職員の雇用体系の導入や出産・育児の支援を中心とした多様な働き方に対応し、看護職員の定着を図る。
---	--

2024年度負担軽減の取り組み内容

項目	現状	目標	具体策	目標達成年次
（1）多様な勤務形態の確保	①看護補助者が不足しており、看護補助者業務を看護職員が行っている。 ②子育て中の看護職員は子の体調不良で急な休みの職員が多い。 ③看護補助者が入職しても自分の考えていた業務とギャップがあり、定着しない。	①看護補助者必要要員数：3名常勤職員による紹介入職者を増やす ②急な休みの看護職員がいても対応できるように看護職員の増員 ③直近3年間の入職者定着率100%を目指す ③看護補助者を指導できる職員を増やす	①紹介会社の利用 ・職員紹介制度の周知 ・SNS、ホームページの充実（福利厚生を踏まえた求人案内） ①②就職イベントの参加（ハローワーク、市開催）をして、看護職員、看護補助者を目指す社会人、高校卒業後の採用活動。 ③看護補助者の役割を理解できるようにし、指導者とともに行動する。 ・腰痛やひざ痛、頸部痛を予防方法をリハビリ科に協力してもらい指導を行う。	①25年度末 ②25年度末 ③28年度末
2）く・環境の職員の整備の働	①新入職員への設備説明が簡易的にしか行えていない。	①トラブル発生時、新入職者がスムーズに対応できるように簡易操作マニュアルの作成。	①病院内の設備の簡単な点検が行えるようにする。 ①定期的な勉強会の実施。 ①新採用者に消防訓練を実施する。（既定の訓練への参加でもよい）	①25年度末
3）看護業務の専念で担うための体制づくり	【栄養科】 ①食事の配膳を看護職員が行っている。	①栄養科にて配膳の協力をしてもらう。	①ホールで食べる患者の食事の配膳の協力。 ①ホールで食べる患者の氏名が栄養科の職員がわかるように患者の座る席に名札を設置する。	①25年度末
	【検査科】 ①皮膚科回診の際、検査検体採取が上手く取れない。	①検体の採取がスムーズに行い、検査結果が速やかに報告することができる	①臨床検査技師が皮膚科回診に同行し検体採取を行う。	①25年度末
	【薬局】 ①病棟により薬剤処方数の差がある。 ②PTPシートからの取り出しが負担となっている。	①多剤服用となっているケースをスクリーニングを行い、主治医と調整し、薬剤数を減らす。 ②食事摂取する患者の内服一包化を実施する。	①入院患者の服用薬剤状況の確認。 ②内服の一包化に向けてバラ錠での購入をする。	①26年度末 ②25年度末
	【リハビリテーション科】 ①業務を行う上で、腰やひざに痛みが生じ、看護要員の離職がある。リハビリ科に協力してもらい、ボディメカニクスの指導をしてもらい離職防止に繋げていきたい。	①腰やひざに負担が少ない技術を指導する。	①看護補助者の早期離職防止のため、体位変換や車椅子等の実施研修を行う。	①25年度末 ①25年度末
	【事務課】 ①クリーンスタッフが床清掃に入っているが、病室の汚れが残っている時があり、看護職員が清掃している。 ②クリーンスタッフが不足している。	①床清掃はクリーンスタッフが行う。 ②清掃ロボットの購入 ③清掃マニュアルの作成 ④クリーンスタッフの採用（2人）	①統一した清掃方法の指導を行う。 ②清掃ロボット導入検討。 ③清掃手順書の作成。 ④ホームページの充実	①25年度末 ②25年度末 ③25年度末 ④25年度末